

SDGs 将来世代創造フォーラム 2024

SDGs 将来世代創造フォーラムでは、アサヒ飲料をはじめとした様々な企業や学生の健康・環境・地域共創への取り組みをテーマとしたブースやワークショップがありました。ブースでは様々なポスターが貼ってあり、ワークショップではゲーム形式などでテーマについて深く知ることが出来ました。

健康

健康をテーマとしたブースでは、食の事や自分の身体の事について学ぶことができました。

例えば...

①料理にたくさん使われがちな塩ですが、塩の代わりにハーブなどを用いることで減塩をしつつ、風味を落とさずに美味しく料理を食べることが出来ます。実際にハーブが用いられたスープを頂いたのですが、とても美味しかったです。

②企業と学生との食品開発がたくさん見られました。

ジャムの食品開発の例です↓

東海営業本部
× ジャム
(株) ストリー
× 愛知商業高校

Pick up! 高校生との商品開発事例

商品開発の流れ

アイデア

- 商品開発の基礎知識を説明
- どんな商品を開発したいか、生徒からアイデア出し

試作

- 生徒からのアイデアのもと試作

試食

- サンプル品の試食を通じて高校生と甘味・色合いなど意見交換

商品決定

- 試作・試食を重ねて商品決定
- 商品名、デザインなどを考案

開発期間(講義含め)約1年間

商品完成

抹茶クリーム
希望小売価格 350円(税別)
内容量:100g

いちじくアイストポテト
希望小売価格 350円(税別)
内容量:100g

生徒たちの豊かな発想力と表現力に感化されました。

私たちが考えた商品を表現することができました。

環境

サステナブルな地球のためのたくさんの取り組みを見ることができました。

例えば...

①環境にとってもやさしいバガス容器というものがお弁当箱、紙コップなど様々なところに使われていました。

使用例（紙コップ）→

バガス容器とはサトウキビなどを元に作られた**自然由来の容器**で、24 時間ほどで分解されます。

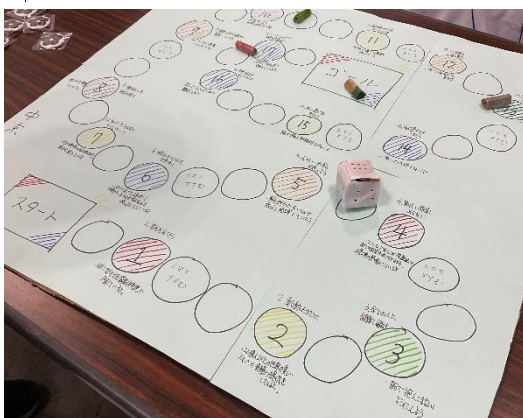


←バガス容器の原材料

容器を使い終わった後も環境に優しい→



②ボードゲームで環境について学べるワークショップありました。自分の駒が止まったところの質問に答える形式で、楽しみながら環境の現状について学ぶことが出来ました。



地域共創

豊かな地域作りを目的とした様々なブースがありました。身近な地域から身近でない文化や国についても知ることが出来ました。

例えば...

①カードゲームを用いて地域で起こっている問題を解決しよう！ということをしました。自分が配られたカード（人や施設、お金などが書かれている）のみを用いて時間制限のある中解決策を考えるのが大変でした。しかし、実際にこういう問題が起こっているのだと気が付き、何ができるかを考えるきっかけとなりました。

②身近な地域だけでなく、外国や普段は接する事のない人の地域作りに協力している人もいました。北海道に行きアイヌ民族の文化を学んだ方にお話をお聞きしたのですが、骨ごと砕いた鮭のハンバーグを食べたそうです。自分たちの周りの事だけでなく、世界の地域に目を向けることでお互いに思いつかないうような発想を交換する事ができるので自分の外の世界を見ることも大事だな、と思いました。

様々なブースを見て、色々な人がしている活動を知ることができ、たくさんお話を聞くこともできてとても楽しかったです。この SDGs 将来世代創造フォーラムを通して自分の視野や知識を広げることができました。自分できることを考えてみようと思います。

文責：南山高校 1 年大久保朋香